

2023年8月3日

報道関係者各位

株式会社ベルコ
みどり生命保険株式会社

コロナ禍における葬儀に関するアンケート調査結果
第2弾:喪主等以外層に対するアンケート結果報告
～コロナ禍3年間での葬儀参列経験ありの方は38.0%に
参列できなかった・しなかった方は11.9%～

人生の二大行事である「冠婚葬祭」を、互助会という助け合い事業を通じて、お手伝いしてきた株式会社ベルコ(本社:大阪府池田市、代表取締役社長:齋藤 斎、以下「ベルコ」とベルコグループ企業であるみどり生命保険株式会社(本社:東京都北区、代表取締役社長:安達倫明)は、コロナ禍により葬儀の簡素化が進んだと言われている中、コロナ禍3年間における葬儀の実態を把握すべく、この間に「喪主(喪主に準じた立場の方を含む)となられた方」、同「葬儀に参列された方や葬儀経験のない方」に対する意識アンケート調査を実施し、合計1,768名の方から回答を得ました。

同アンケート調査結果は以下の通り、順次公表しています。

- ① 「喪主(喪主に準じた立場の方を含む;以下「喪主等」)経験層」へのアンケート結果報告(7月31日公表済)
※参照サイト <https://prtmes.jp/main/html/rd/p/000000060.000084326.html>
- ② **喪主等経験以外の「葬儀参列経験あり、同経験なし層」(以下、「喪主等以外層」)へのアンケート結果報告(8月3日公表)**
- ③ 「喪主等経験層」と「喪主等以外層」における葬儀に対する意識比較報告(8月10日公表予定)

ベルコグループとしては、本調査結果が今後、葬儀を執り行われる方の参考になるとともに、ご逝去された方との充分なお別れに繋がっていければと願っております。

■ コロナ禍の葬儀に関するアンケート調査の概要

調査対象：全国 40歳以上で過去3年以内に喪主等経験あり、同葬儀参列経験あり・なしを事前に確認した後、「喪主等経験層」と「喪主等以外層」に分けて具体的なアンケートを実施

調査方法：インターネット調査

調査期間：2023年6月20日～2023年6月29日まで

調査会社：ジャストシステム(株)

回答人数：喪主等(喪主に準ずる立場の方を含む)経験層878名、喪主等以外層(喪主等以外の葬儀参列経験あり・なし)890名、合計1,768名

※本調査結果の百分率表示は小数点第2位で四捨五入を行っているため、合計しても100%にならない場合があります

上記アンケート結果報告の第2弾「喪主等以外層に対するアンケート」結果の概要は次頁の通りです。

I. コロナ禍で行われた葬儀への参列経験者は38.0%

※別紙アンケート調査(喪主等以外層)詳細 P1 参照

- ・ コロナ禍3年間に行われた「葬儀への参列経験」の割合は38.0%であった。
- ・ 一方、葬儀はあったが、コロナ禍等もあり、「参列できなかった・しなかった」方が合計11.9%となっていた。その理由を聞いてみると、「親密な親族だけで葬儀をされると聞いていた」という理由が最も多く58.5%であったが、コロナ禍の影響と思える理由(コロナによる感染が心配・高齢の家族がいる)も挙げられていた。

II. 葬儀の事前準備は多くの方(77.3%)が行っていないとの結果

※別紙アンケート調査(喪主等以外層)詳細 P4~6 参照

- ・ 葬儀の事前準備の有無を確認したところ、77.3%の方が「準備していない」という結果となった。葬儀の事前準備をしていない理由を確認してみると、「葬儀が発生した時点で決める」方が38.2%、続いて「事前に準備する段階ではない(31.1%)」となっている。
- ・ また、「今後準備を進めたい」と回答した方は16.2%となり、今後進めたい準備内容は、「葬儀に関して・終活の中で」といった情報系に留まる一方、「準備している」と回答した方は6.0%と少ないものの、準備している内容は「葬儀社の決定」や「冠婚葬祭の互助会に入会」など具体的な準備内容であった。

III. ご自身の葬儀の希望と喪主となった場合の葬儀執り行い希望の間には相関あり

※別紙アンケート調査(喪主等以外層)詳細 P2~3 参照

- ・ ご自身の葬儀の希望を確認したところ、「家族葬」が45.2%と最も多く、次に「現時点での希望はない」が23.7%となっている。さらに、もし喪主等となった場合、執り行いたい葬儀の希望を確認したところ、「ご自身の葬儀希望」と同様に「家族葬」が48.2%と最も多く、次に「現時点では考えていない」と「わからない」の合計(28.6%)となっている。
- ・ しかし、この上記2つの希望を葬儀参列経験の有無でみると、「参列経験がある方」では、何れも「一般葬」での回答割合が増加しているとの結果となった。

◆ベルコおよびみどり生命保険の会社概要

商号	株式会社ベルコ	みどり生命保険株式会社
所在地	大阪府池田市空港1丁目12-10	東京都北区王子6丁目3-43
設立	昭和44年4月3日	平成20年8月
総資産額	3,453億円（うち株主資本金784億円）	総資産590億円(うち資本金100億円)
主な事業 内容	冠婚葬祭互助会（経済産業大臣許可第5006号） 互助会加入口数:約266万	生命保険事業 生命保険保有契約件数:約27万件
URL	https://www.bellco.co.jp/	https://midori-life.com/

◆ベルコグループの概要

事業ブランド	互助会・葬儀事業	結婚式・ホテル・多目的ホール	生命保険事業
関係会社 関連施設	(株)ベルコキシウ（田辺市） (株)マリアージュインベルコ（滝川市） (株)ベルコ東山口（周南市） (株)阪南互助センター（岸和田市） (株)ベルライフ（津市） (株)ベルコ三河（豊橋市）	ホテルベルクラシック 2カ所 結婚式場 ベルクラシック他 30カ所 ウェディングチャペル 6カ所 コスチュームサロン 5カ所 多目的ホール 243カ所 ※海外ウェディングも実施	みどり生命保険(株) 2008年に内閣総理大臣 より生命保険業の免許取得 資本金100億円 総資産590億円 保有契約27.2万件

<本プレスリリースに関するお問い合わせ先>

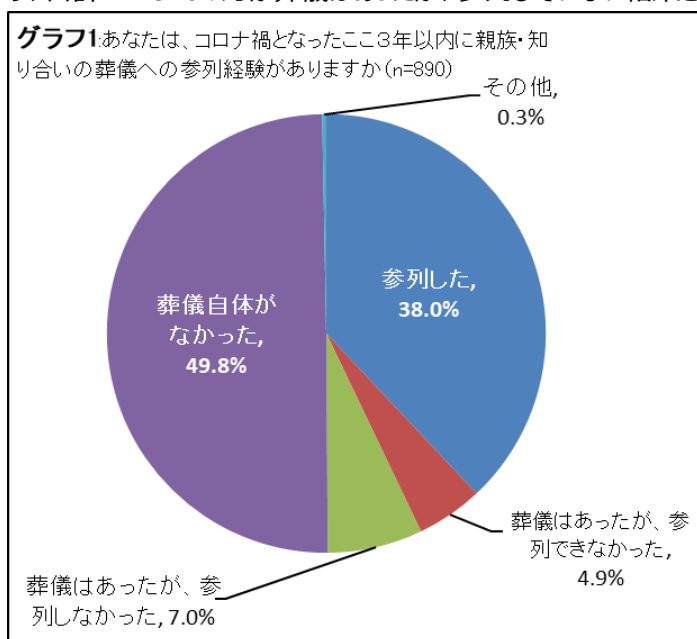
株式会社ベルコ 広報部 TEL : 06-6850-2292
みどり生命保険株式会社 企画部 TEL : 03-5902-3962

【別紙】コロナ禍の葬儀に関するアンケート調査(喪主等以外層)結果の詳細

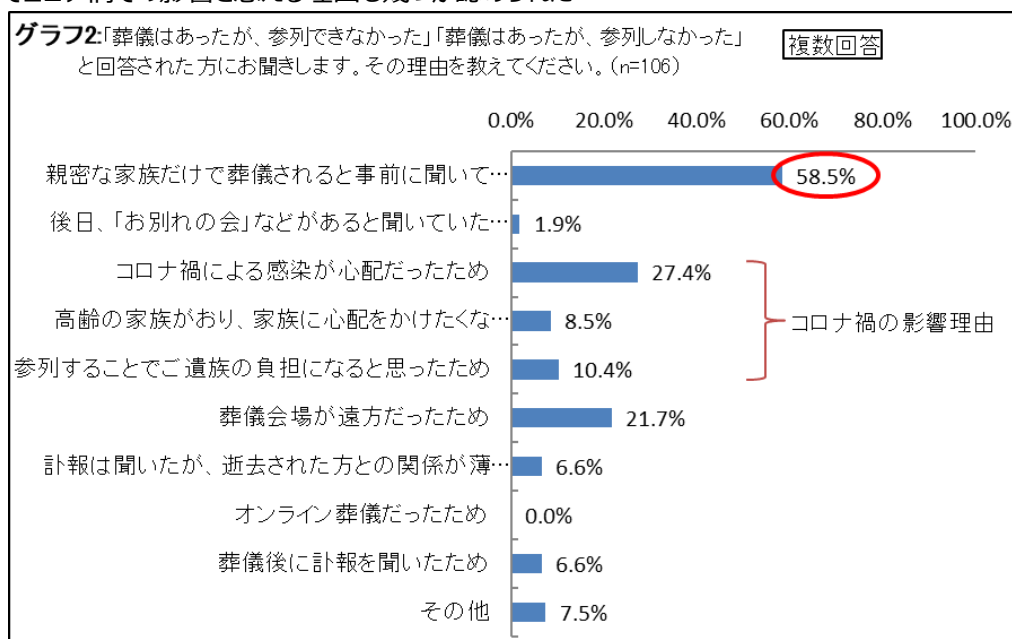
※第2弾では、喪主(喪主および喪主に準じた立場の方を含む:以下「喪主等」)経験とは別にコロナ禍の3年間における「葬儀参列経験の有無」を軸に「喪主等以外層」へのアンケートを実施した結果の報告である。

1. 喪主等以外の方の葬儀参列経験の有無

- 喪主等以外の方にコロナ禍の3年間における「葬儀への参列経験の有無」を聞いたところ、グラフ1の通り、「葬儀自体がなかった方」が49.8%、「葬儀参列経験ありの方」が38.0%となった
- また、コロナ禍でもあり、葬儀はあったが「参列しなかった方」が7.0%、同「参列できなかった方」が4.9%となり、合計11.9%の方が葬儀はあったが、参列していない結果となっている



- 上記のうち、「葬儀はあったが参列しなかった・できなかった」と回答された106名の方にその理由を聞いたところ、グラフ2の通り、「親密な家族だけで葬儀をされると聞いたため」との回答が最も多かった(58.5%)が、一方でコロナ禍での影響と思える理由も幾つか認められた



- さらに、葬儀参列経験の有無を地域別にみると、表 1 の通り、「参列した」比率が高いのは「東北と中部地方」であり、「参列できなかった・しなかった」と回答した比率が高いのは「北海道・中国地方」となっている

	総数	親族・知り合いの葬儀への参列経験は					
		参列した	参列できなかった	参列しなかった	葬儀自体がなかった	その他	
全体	890	38.0%	4.9%	7.0%	49.8%	0.3%	
地域	北海道	48	35.4%	8.3%	10.4%	45.8%	0.0%
	東北地方	47	46.8%	2.1%	6.4%	42.6%	2.1%
	関東地方	353	34.8%	5.9%	6.8%	52.1%	0.3%
	中部地方	139	50.4%	3.6%	5.8%	39.6%	0.7%
	近畿地方	189	31.7%	4.2%	6.3%	57.7%	0.0%
	中国地方	33	42.4%	9.1%	9.1%	39.4%	0.0%
	四国地方	20	40.0%	0.0%	5.0%	55.0%	0.0%
	九州地方	61	39.3%	3.3%	9.8%	47.5%	0.0%

2. 喪主等以外の方の「ご自身の葬儀」と「もし喪主等となられた時の葬儀」の希望

- 喪主等以外の方に「ご自身の葬儀」の希望を聞いたところ、表 2 の通り、「家族葬」が 45.2%と最も多く、次に「現時点での希望はない」が 23.7%となっている
- これを葬儀への参列経験ありの方とそれ以外の方で区分してみると、少し違った割合となっているのがわかる(赤字参照)参列経験のある方は「一般葬」の割合が倍増、参列できなかった・しなかった方は「家族葬」の割合が増加、葬儀自体の経験がなかった方は「現時点で希望はない」が多くなった

	総数	ご自身の葬儀はご遺族にどうしてほしいか						
		一般葬	家族葬	一日葬	直葬・火葬式	現時点で希望はない	その他	
全体	890	7.3%	45.2%	6.0%	16.3%	23.7%	1.6%	
あなたは、コロナ禍となったここ3年以内に親族・知り合いの葬儀への参列経験がありますか	参列した	338	14.2%	49.7%	7.1%	13.3%	15.1%	0.6%
	参列できなかった	44	4.5%	54.5%	4.5%	20.5%	13.6%	2.3%
	参列しなかった	62	0.0%	58.1%	3.2%	22.6%	14.5%	1.6%
	葬儀自体がなかった	443	3.4%	38.8%	5.6%	17.4%	32.5%	2.3%
	その他	3	0.0%	66.7%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%

- 喪主等以外の方に「もし喪主等となられた時、どのような葬儀を執り行いたいのか」の希望を聞いたところ、表 3 の通り「家族葬」が 48.2%と最も多く、次に「現時点では考えていない」と「わからない」の合計(28.6%)と上記表 2 の「ご自身の葬儀の希望」と同様な傾向が認められた
- さらに、上記と同様に、参列経験ありの方とそれ以外の方で区分してみると、こちらも参列経験のある方は「一般葬」の割合が 1.5 倍に増加、参列できなかった・しなかった方は「家族葬」の割合が増加、葬儀自体の経験がなかった方は「現時点で希望はない/わからない」が多くなった

表3		総数	もし喪主等となられた時、どのような葬儀を執り行いたいか						
			一般葬	家族葬	一日葬	直葬・火葬式	現時点では考えていない	わからない	その他
全体		890	8.7%	48.2%	6.5%	6.9%	18.4%	10.2%	1.1%
あなたは、コロナ禍となったここ3年以内に親族・知り合いの葬儀への参列経験がありますか	参列した	338	13.3%	53.0%	7.4%	4.1%	14.5%	5.9%	1.8%
	参列できなかった	44	6.8%	52.3%	4.5%	9.1%	25.0%	2.3%	0.0%
	参列しなかった	62	1.6%	64.5%	3.2%	8.1%	19.4%	1.6%	1.6%
	葬儀自体がなかった	443	6.3%	41.8%	6.5%	8.6%	20.8%	15.3%	0.7%
	その他	3	0.0%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%

- 参考として、「ご自身の葬儀の希望」と「喪主等になられた時の葬儀執り行い希望」の相関を確認してみると、参考表の通り、相関は認められたものの、以下の点で異なる意見も現出している

- 喪主等での葬儀執り行い希望で、「一日葬」と回答した方の「ご自身の葬儀」の希望では「家族葬から一日葬、直葬・火葬式」に幅広く分かれた
- 同上、「一般葬」と回答した方の約4分の1の方が「ご自身の葬儀」の希望では「家族葬」としている結果となっている

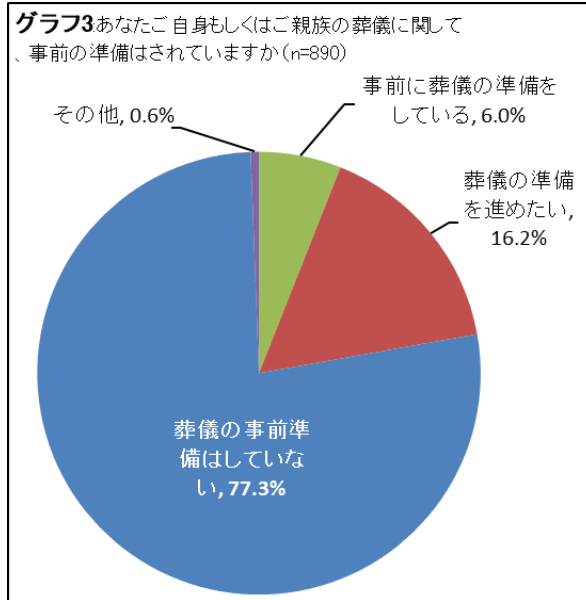
参考表		総数	ご自身の葬儀の希望					その他
			一般葬	家族葬	一日葬	直葬・火葬式	現時点では希望はない	
全体		890	7.3%	45.2%	6.0%	16.3%	23.7%	1.6%
喪主等となられた時、どのような葬儀を執り行いたいか	一般葬	77	54.5%	23.4%	2.6%	6.5%	11.7%	1.3%
	家族葬	429	4.2%	73.9%	4.2%	6.8%	10.0%	0.9%
	一日葬	58	1.7%	22.4%	39.7%	29.3%	6.9%	0.0%
	直葬・火葬式	61	0.0%	6.6%	3.3%	80.3%	9.8%	0.0%
	現時点では考えていない	164	1.8%	17.7%	2.4%	16.5%	60.4%	1.2%
	わからない	91	1.1%	19.8%	4.4%	17.6%	53.8%	3.3%
	その他	10	0.0%	30.0%	0.0%	20.0%	10.0%	40.0%

◆参考)葬儀の形態についての定義

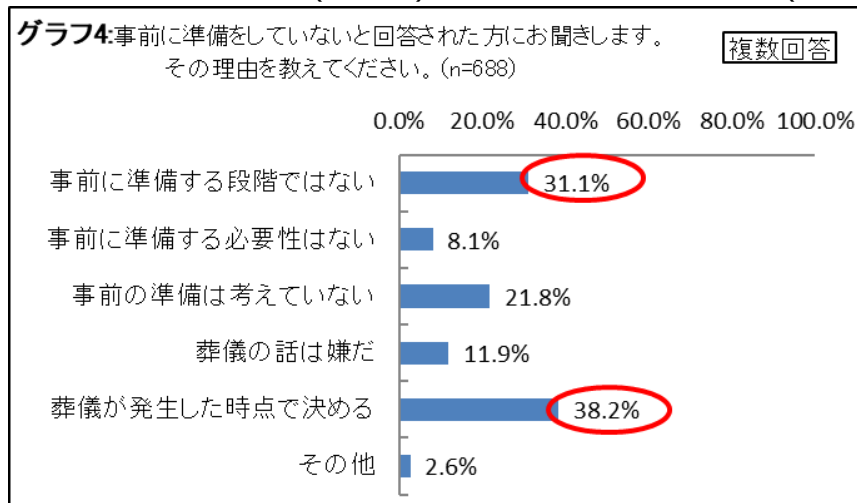
一般葬	通夜・葬儀・告別式のお葬式で、参列者は知人、地域の方、職場など幅広い
家族葬	通夜・葬儀・告別式のお葬式で、参列者は親族や近親者
一日葬	通夜がなく告別式のみ、1日のお葬式
直葬・火葬式	宗教儀式のない、火葬のみのお別れ

3. 喪主等以外の方の葬儀の事前準備

- 喪主等以外の方に「ご自身もしくはご親族の葬儀の準備を行っているか」を聞いたところ、グラフ3の通り、「事前準備はしていない方」が77.3%と全体の4分の3以上を占め、「事前準備をしている方」「事前準備を進めたいと思っている方」を併せても22.2%に留まっている



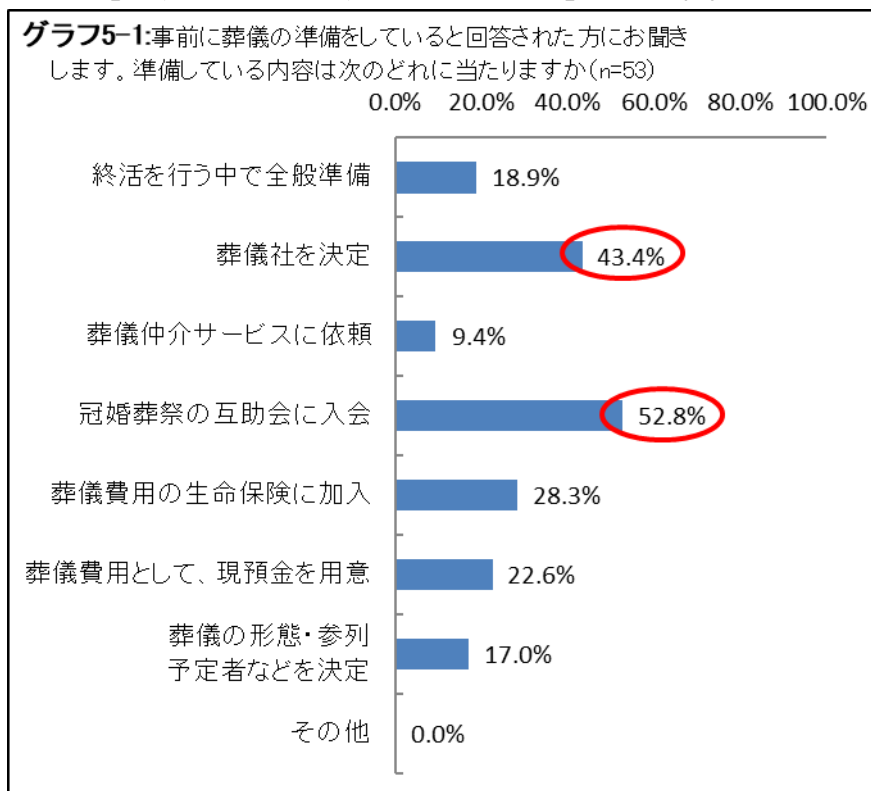
- ① 「葬儀の事前準備はしていない方」に、その理由を確認してみると、グラフ4の通り、多い回答としては「葬儀が発生した時点で決める(38.2%)」「事前に準備する段階ではない(31.1%)」となっている

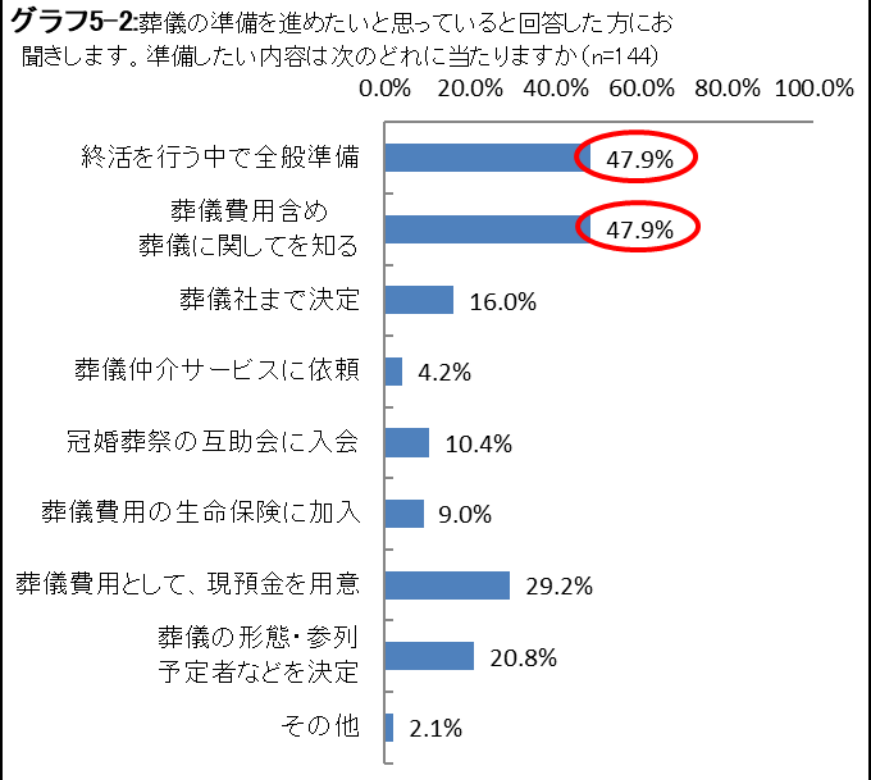


これを、回答者の年齢で関係をもてみると、表4の通り、40歳代では「葬儀の話は嫌だ」が、50歳代前半では「事前に準備する段階ではない」が、60歳代前半では「事前の準備は考えていない」、同後半では「事前準備する必要性はない」が、70歳以上では「葬儀が発生した時点で決める」が各々平均値より比較的高い回答比率となっている

表4		総数	事前に準備していない理由は					
			事前に準備する段階ではない	事前に準備する必要はない	事前の準備は考えていない	葬儀の話は嫌だ	葬儀が発生した時点で決める	その他
全体		688	31.1%	8.1%	21.8%	11.9%	38.2%	2.6%
回答者年齢	40歳～44歳	95	34.7%	6.3%	22.1%	20.0%	27.4%	3.2%
	45歳～49歳	94	30.9%	6.4%	22.3%	19.1%	37.2%	2.1%
	50歳～54歳	89	40.4%	2.2%	15.7%	14.6%	36.0%	4.5%
	55歳～59歳	86	30.2%	9.3%	19.8%	9.3%	34.9%	1.2%
	60歳～64歳	86	26.7%	7.0%	31.4%	10.5%	37.2%	4.7%
	65歳～69歳	84	32.1%	13.1%	22.6%	9.5%	38.1%	1.2%
	70歳以上	154	26.0%	11.0%	20.1%	4.5%	49.4%	1.9%

- ② 葬儀の事前準備をしている方と今後準備を進めたいと思っている方に準備の内容を聞いたところ、事前準備している方は、グラフ 5-1 の通り「葬儀社を決定」や「冠婚葬祭の互助会に入会」などかなり具体的な準備が進んでいる一方、今後準備を進めたいと思っている方では、グラフ 5-2 の通り「終活を行う中で全般準備」や「葬儀費用を含め葬儀に関してを知る」などの情報系の準備に留まっているのがわかる





以上

